

横浜市立南希望が丘中学校

学校教育目標 ～挑戦・発信・錬磨～

- 主体的に考え、伝える力と課題を解決する力を高める。【知】
- 人を思いやり、自分や周りを大切にする心を育てる。【徳】
- 様々なふれあいを通し、豊かな心と体を鍛えると【体・開】
- 社会の一員として、広い視野に立ったものの見方や考え方を身に付ける。【公・開】



1 学校教育目標とESDを通して育成したい資質・能力とのつながり

本校には3つのスローガンがあります。それは、「挑戦」「発信」「錬磨」です。

まずは「挑戦」です。今回ESD推進を始めるにあたって子どもたちはとても意欲的で新しいことに挑戦するよい機会となりました。

次に「発信」です。今回の取組をなぜ行おうとしているのかを聞かれて答えることで、自分の考えや思いを多くの人に伝え、多くの人とコミュニケーションを取ることで、世界が広がっていくと考えます。

三つ目は「錬磨」です。それぞれ一生懸命取り組んでみることによって、きっと今までとは違う「自分」に出会えるはずです。

2 SDGs達成の担い手育成（ESD）の視点で取り組んだこと

ユニクロ服のチカラプロジェクトの取組です。約760枚近くの洋服が集まりました。



美術部新聞班の取組です。今回の服回収について特集を組んでくれました。あわせて、ペットボトルのキャップの回収についても書かれています。



図書館でも、SDGsの展示をしていました。子どもたちが手に取って読んでいる姿が何人も見られて、少しずつですが広がりつつあるのがわかりました。

3 ESDによる「変容の視覚化」の手法

今年度の取組は、スライドや動画を作成し、全校に流し報告となります。



に発送してもらいます！

SDGsの説明から始まるので、もう一度SDGsとは何かを確認できます。また、発送したところまでスライドがあるので、学校としてどんな取組をしたのかを認識できます。

4 ESDによって引き出すことができた価値 (evaluation=評価)

まだ、取組を始めたばかりなので、ESDとは何かを考え、気づくということができればそれでよいと思います。街中にはたくさんSDGsのマークがあふれています。その中で、来年度以降子どもたちからと組んでみたいことが出てくるとより効果的な取り組みになるかと考えています。